

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

夏の三者面談で同志社好大学の名前を知ったことがきっかけとなり、私が興味を持ち学びたい内容と人間生活学科のカリキュラムが合っていたため第一志望校に決めました。

受験勉強の進め方【1学期】

部活引退に向けて、よりいっそう部活に集中してしまい、正直受験勉強はしっかりできていませんでした。ただ、授業の予習・復習はきちんとやるようにしていました。予習では疑問点をばききせながら解き、復習ではできないところを中心に、その日中に苦手を潰せるように心がけていました。私は新たに参考書を買うのではなく、学校で配られた教科書や問題集などに書き込んだり線り返し解いたりして使っていました。今では、教科書は自分だけの参考書になりました。

受験勉強の進め方【夏休み】

塾へ通っていなかったため、平日は朝から夕方まで学校、その後は商業施設の勉強スペースで受験勉強をしていました。休日も勉強に集中できる環境を見つけ、なるべく家にいる時間を減らして、だらけてしまうのを防ぎました。古文単語や英単語は電車や車の移動中に毎日見返し、夏休みは学校の補講と国語・英語を中心に取り組みました。現代文・古文・漢文はスタディアプリを利用して基礎から勉強し、英語は共通テストのリーディング・リスニングに慣れるためほとんど毎日やりました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

学校の授業は共通テスト対策中心だったので、復習を大切に、新たな知識と解き方を吸収するようにしていました。休み時間も単語帳を見返すなど有効利用するのが良いと思います。休日など時間があるときに私大対策をしました。同志社好大学の赤本は夏に初めて解き、秋から本格的に取り組みました。大問ごと時間を計り、問題傾向を確認しながら5年分は解きました。問題に慣れたり出やすいところをまとめたりしておくと良いと思います。同志社好大学の入試対策講座も活用しました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

まず生活リズムの改善として、睡眠時間の確保、毎日朝ごはんを食べることを心がけました。好きなテレビは録画をして受験が終わるまで観ないようにしました。スマホではSNSを消し、勉強以外の利用をしないため、スタディプラス（勉強記録アプリ）を活用しました。次にスランプの対処法として、だらけたときは「ほかになくてもゼロよりは良い」「他人と比べず昨日の自分と比べず頑張れたら良い!」と思うようにしていました。

受験生のみなさんへ

私が受験を終えて思うのは、嫌になることもあったが乗り越えたということです。また、結果がついていない時があっても努力しただけ自信はつきます。志望校を変えずに最後まで頑張りを続けることができたからだと思います。入試当日はもちろん緊張もありましたが、他の受験生のことは気にせず、自信を持って受験に挑んで欲しいです。よく寝て、よく食べて、絶対に最後まで頑張ること。応援しています。

